

平成29年司法試験 合格体験記

平成27年度修了（既修コース）北内 佑弥

私は、11期既修の北内佑弥と申します。1回目の受験では不合格となり、今年2回目の受験で何とか合格することができました。

1回目の受験では、細かい知識ばかりを追い求め、結果として中途半端な知識しか得ることができませんでした。また、これらの知識を答案に書くことを意識して勉強していなかったことから、論文答案としてどのように表現すべきかが試験の現場でわかりませんでした。そのような反省から、私は、2回目の受験においては、「基本を丁寧にすること」と「答案に書くことを意識すること」を大事にしようと考えました。

具体的な方法としては、各科目1冊ずつ問題集を選びそれを解き、分からないことがあれば、基本書や判例等に立ち返りました。このようにして、受験生それぞれがそれなりに解いてくるであろう論点についての知識を答案に正確に表現できる形で押さえようと考えたわけです。

ところで、試験の現場においても一つ重要なことが、メンタル面であると思います。試験の現場では必ずわからないことが出てきます。そのようなときに悩み続けていると時間がなくなりますから、どこかで決断（あるいは割り切り）しなければなりません。しかし、不思議なことですが、試験に気持ちで負けてしまうと、よくない方向へと考えを進めてしまうことが多いような気がします。ですから、自分を信じて、最後まで諦めないでください。今までの努力は必ずあなたの味方になってくれるはずです。

最後となりましたが、岡山大学法科大学院の先生方、資料室・教務の方々、先輩方、友達、家族には、合格までずっと私の試験勉強を支えていただきました。このご恩をいつか何らかの形でお返しできるよう、より良き法曹を目指して努力を続けたいと思います。本当にありがとうございました。